OH253	年度 大阪府泉佐野丘陵緑地選	運営審議会 開催計画(案)	\sim H2	26中地区	関放に向	りけた検討	対スケジ								協	議1-2
			H24					現場での開催を増やす(H24 2回/年→H25 3回/年) H25						126		
項目		現在の到達点				1月	3月 5月 7月						3月	4月以降		
			第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回		十万以	h
概要	• H26~開放に対する考え方	「シナリオ型公園づくり」における、 さらなる効果検証のための開放				力針決定	散策	路、各エリフ	アはゾーニン	ノグ検討をふ	まえ決定					$\overline{\bigcap}$
	・区域	・園路及び広場を自由利用、 その他を「利用調整ゾーン」														
	• 時間	・原則9~17時、夜間は閉鎖					7	現場検討		現場検討		現場検証				
	• 駐車場	・無料、全域開園時は有料化も検討					反映		反映		反映					
	• 進入路	・泉佐野市が表面管理・民活区域の事業者決定までは夜間閉鎖					Z K		I I I		X IX					
	・交通アクセス		項								+=m=		j			
空間整備	・来園者への安全対策、周知	パークセンターなどの要所にて周知制限区域もむやみにフェンス閉鎖しない	目及					 			文言確認	現場検護	_	中地		各 — 項 —
	・主要施設へのアクセス・バリアフリー対策	・コラボレーション区域〜郷の館まで	び					ター								
	• 照明計画	・進入路を除き、必要最小限とする	通点					ブデ								
	サイン計画	・公園特性を生かしたフレキシブルなもの ・ポケットブック、Web情報の併用 ・必要最小限の設置	が の 整 ・ 理					T T								の
	• 駐車場計画	・中地区全体で、最大156台 ・天神川Pは、利用状況を見据え整備	· · · ·		生	と備計画		現場検証	ī.	現場検証		用焊烧缸		部		効
	各エリアゾーニング	・開放区域を見定め重点化 ・当面は、棚田エリア、竹の丘エリアから	■刃					20000000	 	3000	,	現場検証		放		^木 検 —
	・樹木植栽、伐採、土地の改変	・大阪府とパーククラブのみが実施 ※ただし、両者プログラム内行為は除く			 			現場を	1							
維持管理	・管理レベル				方針決定) <u>i </u>					
運営管理	人員体制、パーククラブとの役割分担 ex.パークセンター運営(ロビー展示ほか)	・パーククラブによる来園者の注意喚起は 義務化とまではしない								H26	体制をみす	え				
	・ルールづくりの体制	・大阪府がPCと調整しながら審議会へ・PDCAの徹底・「公園運営ルール」として整理				Ť	針決定									
	・プログラム利用(持込み型イベント)のルール	・当面は、全て審議会へ ・将来的には事務局にて運用				\ \frac{1}{2}		大輪会 (理事会)							
	・大輪会企業のさらなる公園づくりへの参画						li .		内容検討		実施					
広 報	・パンフレット、HP、イベント					513	実施の有無	方法	7361883		关风					
	・公園名称の公募					L 実施の有無	現場を	きふまえ]			
	・外部団体への区画貸し出し(棚田等)															<u> </u>
パーククラブ・	・養成講座、ステップアップ講座	・5期生養成講座(9~11月)全6回 ・ステップアップ講座(6~12月)全6回			+ 41.45		##	+ TM=31		LOETS	200 to 3					
	・あり方、体制 (マネージャー、レンジャー、フレンド)				方針決別	E J	募集的	り催認			学ふりかえ					

[※]アウトプットとして、これらの内容を「泉佐野丘陵緑地 運営ルール(H25年3月)」として整理 ※各項目については、その都度、追加検討していく